

---

# SiO Screen Studio SiO Screen Viewer

SiO-X 専用  
タッチパネル作画用パソコンソフト  
取扱説明書



Rev. 1.00

©SUS Corporation 2026

---

## SiO Screen Studio / SiO Screen Viewer 使用条件および使用許諾について

この度は、 **SiO Screen Studio/SiO Screen Viewer** をご利用いただき、誠にありがとうございます。

当社が作成したソフトウェア・プログラム **SiO Screen Studio/SiO Screen Viewer** をご使用いただくにあたり、以下の条件（以下「本使用許諾条件」といいます）にご同意いただく必要があります。もし本使用許諾条件に同意いただけない場合は、お客様のパソコンから **SiO Screen Studio/SiO Screen Viewer** を直ちに削除してください。

1. 本使用許諾条件はお客様が **SiO Screen Studio/SiO Screen Viewer** の使用を始めたときから発効します。
2. **SiO Screen Studio/SiO Screen Viewer** および付随するすべての著作物に関する著作権は、当社に帰属します。
3. お客様は、**SiO-X** を用い、お客様ご自身の業務遂行または当社が認める目的での利用に限り、**SiO Screen Studio/SiO Screen Viewer** を使用することができます。本使用許諾条件に基づく使用権は 非独占的かつ譲渡不可 とします。
4. 当社の書面による事前同意なく、**SiO Screen Studio/SiO Screen Viewer** および付属文書の複製・改変・引用・転載・再配布・貸与・譲渡を行うことはできません。
5. お客様が **SiO Screen Studio/SiO Screen Viewer** の使用により生じた損害について、当社の故意または重過失による場合を除き、当社は責任を負いません。
6. お客様が本使用許諾条件に違反した場合、または当社が本使用許諾条件を継続しがたい重大な事由があると当社が判断した場合、当社はお客さまへの通知なく、直ちに使用許諾を解除できるものとします。
7. 当社は、**SiO Screen Studio/SiO Screen Viewer** の仕様の全部または一部を、事前の通知なく変更できるものとします。また、**SiO Screen Studio/SiO Screen Viewer** に関して、明示・黙示を問わずいかなる保証も行いません。

## 商標について

Windows は米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。

---

---

# 目次

<b>SiO Screen Studio / SiO Screen Viewer 使用許諾契約書</b> .....	2
はじめに.....	4
動作環境.....	5
インストール方法（共通）.....	6
レジストレーションキーの取得方法（共通）.....	9
概要.....	11
<b>SiO Screen Studio</b> .....	13
1.SiO Screen Studio 使用手順例.....	13
2.メイン画面.....	16
① リボンメニュー.....	17
② スクリーン一覧.....	20
③ スクリーン編集画面.....	21
1. Viscon.....	21
1-1.スイッチ.....	22
1-2.TP 変数入力ボックス.....	23
1-3.TP 時刻入力ボックス.....	24
1-4.スクリーン切り替えスイッチ.....	25
1-5.画像.....	26
1-6.線.....	26
1-7.四角形.....	26
1-8.ランプ.....	27
1-9.テキスト.....	28
1-10.ファンクション値表示ボックス.....	29
1-11.時刻表示.....	30
1-12.日付表示.....	31
1-13.割り当てスイッチ.....	32
2.レイヤー表示.....	33
④ メッセージ.....	34
4.スクリーン切り替え設定.....	35
4.テーマ.....	36
5.シミュレーション.....	37
6.コンパイル.....	38
<b>SiO Screen Viewer</b> .....	40
1. 使用手順.....	40
2.メイン画面.....	44
① プロジェクト.....	44
② 設定画面.....	46
③ 電源 OFF ボタン.....	48
<b>SiO Screen Studio / SiO Screen Viewer に関するお問い合わせ</b> .....	49
改版履歴.....	49

## はじめに

**SiO Screen Studio / SiO Screen Viewer** は、SiO-X コントローラ をサポートするパソコン用ソフトウェアです。

**SiO Screen Studio** はタッチパネル用の画面データを効率的に編集することができます。編集したデータはコンパイル後、ファイルに保存し **SiO Screen Viewer** で表示させることができます。

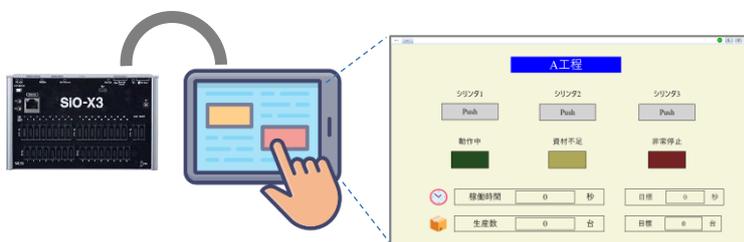
**SiO Screen Viewer** は、**SiO Screen Studio** で生成したスクリーンデータを表示することができます。

コントローラと接続することで、タッチパネルとして操作することが可能です。

【SiO Screen Studio】



【SiO Screen Viewer】



本取扱説明書に記載されている内容は製品改良などにより予告なしに変更する場合があります。最新の情報は、当社 Web サイトをご覧ください。 <https://fa.sus.co.jp/>

## ご使用の際の注意事項

- コントローラ に通信ケーブルを接続および取り外しする際は、必ずコントローラの電源を OFF にしてください。
- コントローラとお客さまのパソコンでデータ通信を行う際は、当社指定のケーブルをご使用下さい。
- コントローラとお使いのパソコンがデータ通信を行っている際は、コントローラ の電源を OFF にしないでください。またデータ通信中にケーブルがはずれたりしないよう、USB ケーブルはしっかりと接続してください。

---

## 動作環境

---

**SiO Screen Studio / SiO Screen Viewer** を動作させるためには、以下の環境が必要です。

### ◆オペレーションシステム

Windows 10 (32/64Bit 版)

Windows 11

※ 上記 OS であっても、機種によっては正常に動作しない場合があります。

### ◆CPU&メモリ

2GHz 以上の CPU、8GB 以上のシステムメモリを推奨

### ◆ハードディスク空き容量

空き容量 10GB 以上

### ◆ディスプレイ

解像度 1280×768 以上

カラー 256 色以上

ディスプレイサイズ 18 インチ以上を推奨 (SiO Screen Studio のみ)

### ◆その他

USB2.0 ポート (SiO Screen Viewer のみ)

## インストール方法（共通）

**SiO Screen Studio/SiO Screen Viewer** は、パソコンのハードディスクにインストールして使用します。

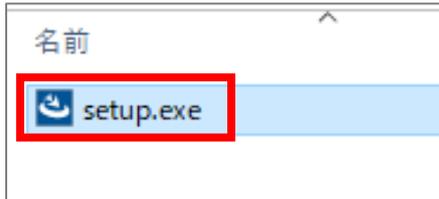
ここでは、**SiO Screen Studio/SiO Screen Viewer** のインストール方法を説明します。

※必ず管理者権限を持つアカウントでインストールしてください。

### 手順 1

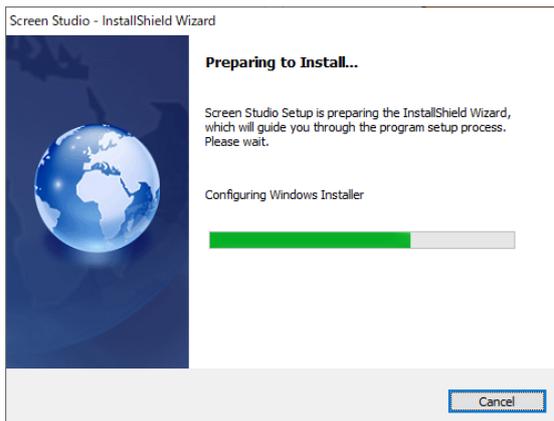
**SiO Screen Studio/SiO Screen Viewer** を Web サイトからダウンロードします。

ダウンロード後、解凍して生成された setup.exe を実行します。



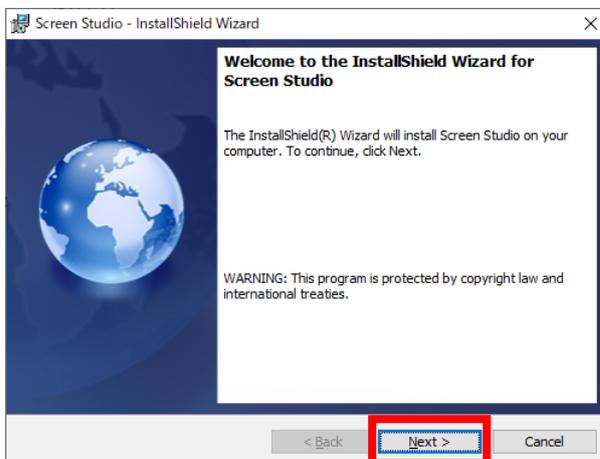
### 手順 2

**SiO Screen Studio/SiO Screen Viewer** のインストーラが起動します。



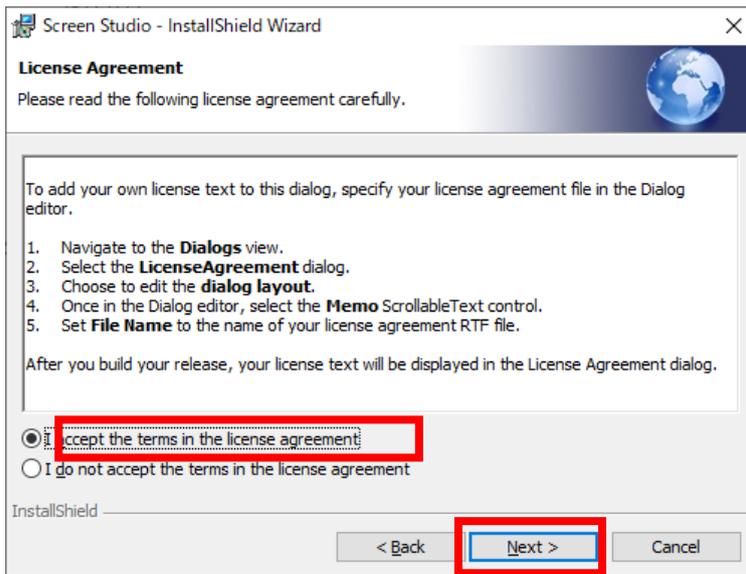
### 手順 3

「Next」をクリックします。



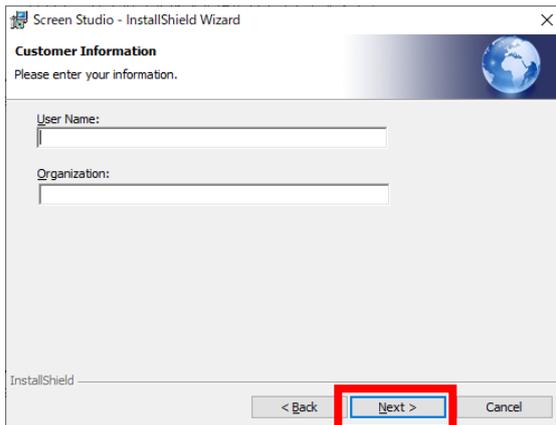
## 手順4

使用許諾契約書の内容に同意していただき、[Next]をクリックして下さい。



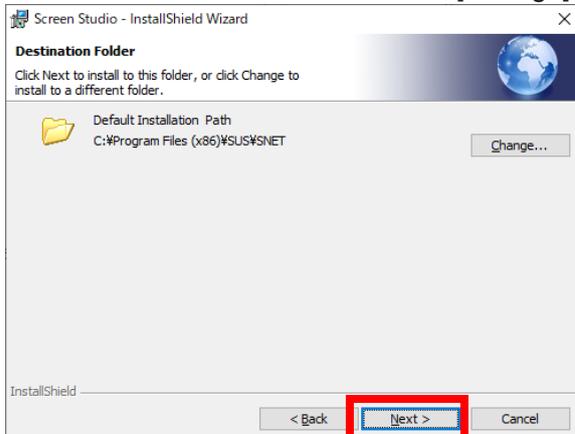
## 手順5

ユーザ名および所属を入力し、[Next]ボタンをクリックして下さい。



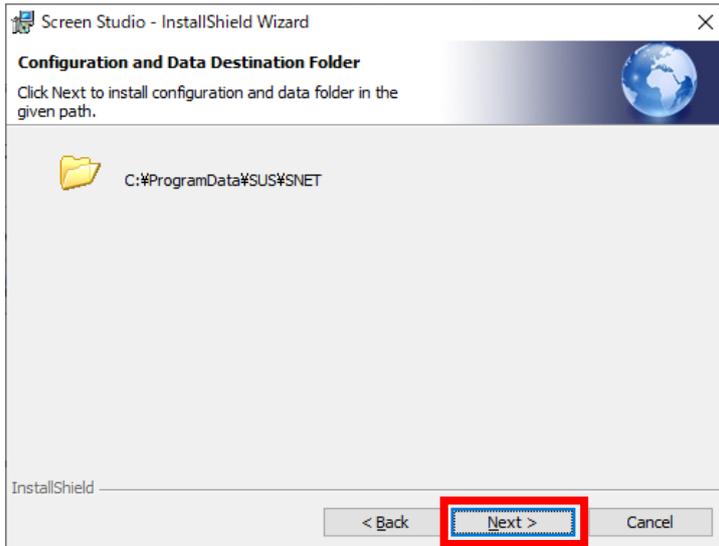
## 手順6

インストール先を変更する場合、[Change]ボタンより任意のフォルダを指定してください。



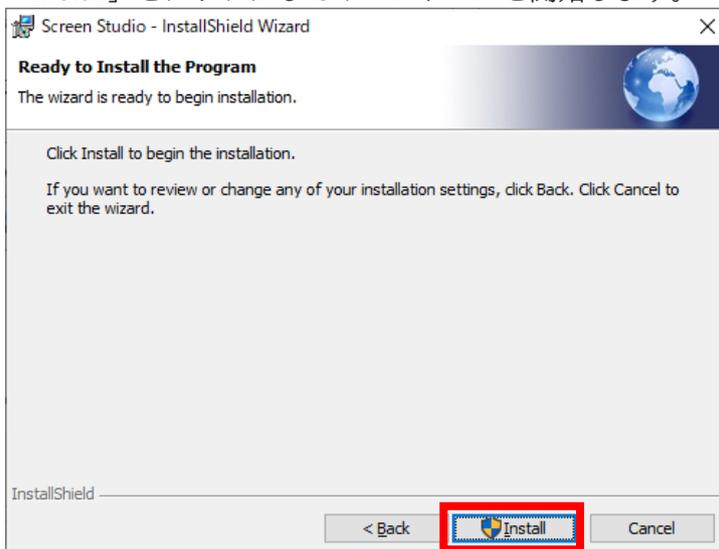
## 手順7

保存フォルダが表示されます。「Next」をクリックしてください。



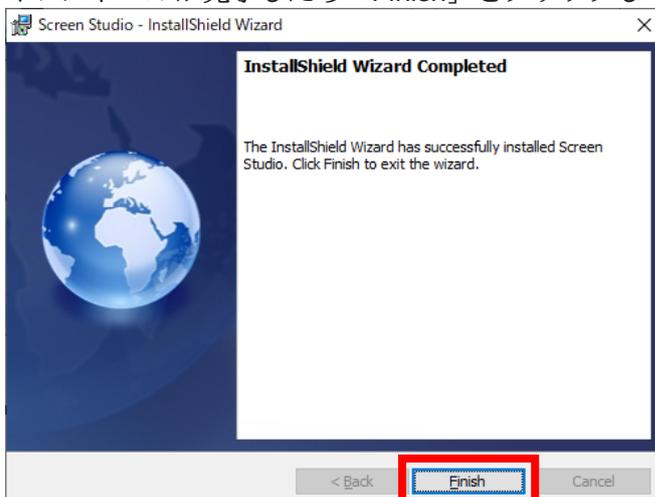
## 手順8

「Install」をクリックしてインストールを開始します。



## 手順9

インストールが完了したら「Finish」をクリックしてください。



## レジストレーションキーの取得方法（共通）

**SiO Screen Studio/SiO Screen Viewer**には5日間の試用期間があります。  
引き続き使用するためには、レジストレーションキーを取得する必要があります。  
ここでは、レジストレーションキーを取得する方法を説明します。

※レジストレーションキーは使用するPCごとに取得する必要があります。  
※SiO Screen Studio/SiO Screen Viewerの各ソフトでレジストレーションキーを取得する必要があります。

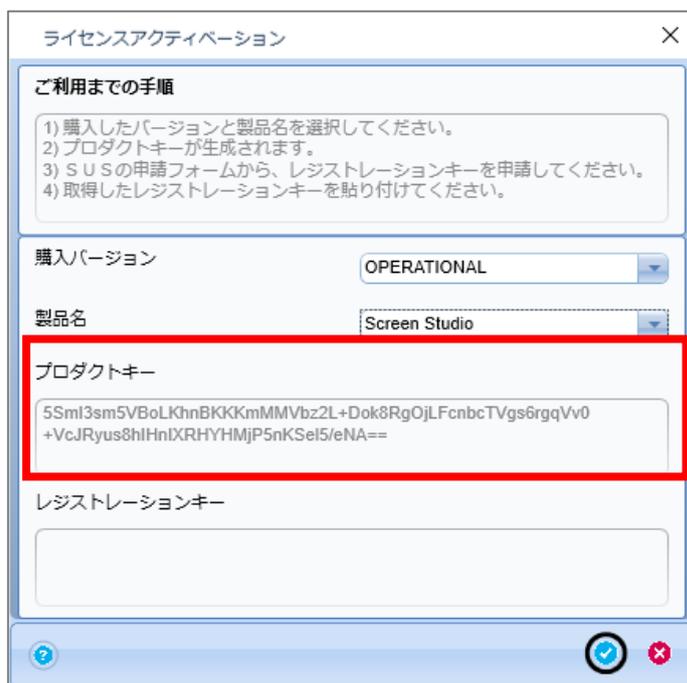
### 手順1

**SiO Screen Studio/SiO Screen Viewer**をインストールし、ショートカットから起動します。  
ソフト起動後、「ライセンスアクティベーション」をクリックします。



### 手順2

ライセンスアクティベーションのウィンドウが表示されます。  
「購入バージョン」で「OPERATIONAL」、「製品名」で「SiO Screen Studio」または「SiO Screen Viewer」を選択し、「プロダクトキー」に表示された文字をコピーします。



## 手順3

以下の URL にアクセスし、必要事項を記入して申請してください。

[https://fa.sus.co.jp/inquiry/ScRegkey\\_app/](https://fa.sus.co.jp/inquiry/ScRegkey_app/)

※最大で2営業日程度お時間を頂戴する場合がございます。

※SiO Screen Viewer の場合、ご注文時に記載のキー申請 No.(SUS 発注 No.)を入力してください。

## 手順4

当社からレジストレーションキーが返信されましたら、コピーして「レジストレーションキー」に貼り付けてください。

その後、✓をクリックします。



ライセンスアクティベーション

ご利用までの手順

- 1) 購入したバージョンと製品名を選択してください。
- 2) プロダクトキーが生成されます。
- 3) SUSの申請フォームから、レジストレーションキーを申請してください。
- 4) 取得したレジストレーションキーを貼り付けてください。

購入バージョン: OPERATIONAL

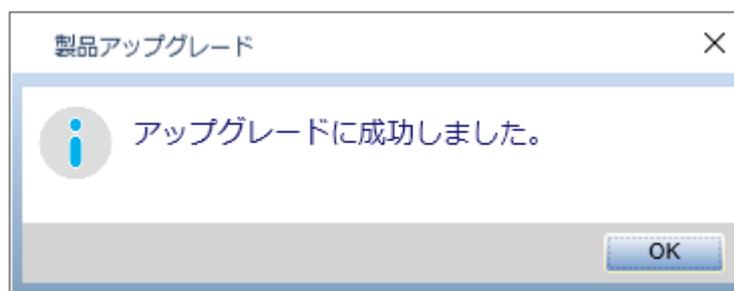
製品名: Screen Studio

プロダクトキー  
5Sml3sm5VBoLKhnbKkKmmMMVbz2L+Dok8RgOjLFcnbcTVgs6rgqVv0  
+VcJRyus8hlHnlXRHYHMjP5nKSeI5/eNA==

レジストレーションキー  
4om0jyxcmwteNNastaAAhDvwDLM0QRTvsQgNbiqXiU/  
MXPgkEHRNF04vZY3Qad3ggKP7hFYCzE6gqK361E0VUzqoMlbAc3lesxFi4  
+RzV7oc3akqV0LdVp/QzrPl1REaFutj2RrWaoIopceqj

## 手順5

以下のメッセージが表示されたら認証完了です。



製品アップグレード

アップグレードに成功しました。

OK

## 概要

**SiO Screen Studio** 及び **SiO Screen Viewer** は、Windows OS のタブレット端末をコントローラ専用のタッチパネルとして使用できるようにする PC ソフトです。

タブレット端末のサイズ、スクリーンデータのデザインを組み合わせることで、現場に適したタッチパネルを作ることができます。

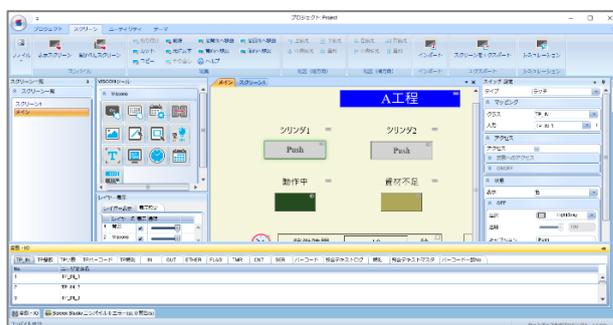
1.スクリーンデータを作成  
(SiO Screen Studio)

2.スクリーンデータをタブレット端末で表示  
(SiO Screen Viewer)



### ◆SiO Screen Studio(→p.13)

スクリーンデータの編集を行うソフトです。  
スイッチやランプ、画像などを配置したスクリーンデータを生成します。  
生成したデータをエクスポートすることで、SiO Screen Viewerで使用することができます。



### ◆SiO Screen Viewer(→p.40)

タッチパネルとして動作させることができるソフトです。  
コントローラと接続した状態で起動し、SiO Screen Studioでエクスポートしたファイルを  
インポートすることで、スクリーンの表示・操作ができます。

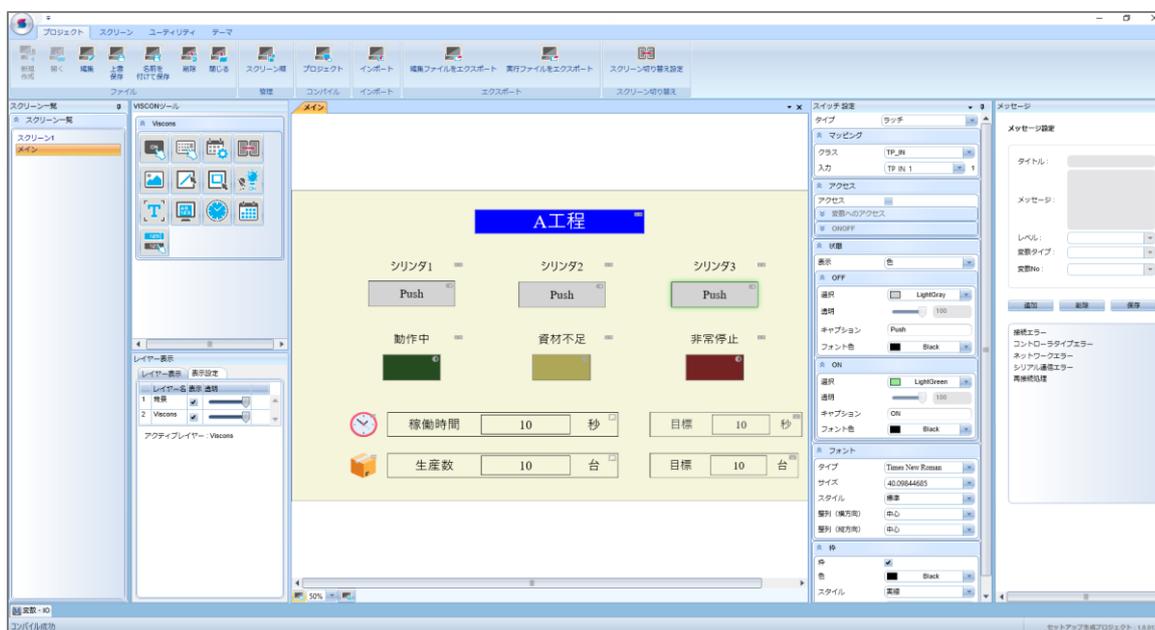


## ◆使用手順

1. SiO Screen Studio をインストール  
Web サイトから、SiO Screen Studio を画面編集用 PC にインストールします。
2. SiO Screen Studio のレジストレーションキー取得  
SiO Screen Studio を起動し、専用フォームからレジストレーションキーを取得します。→p.9  
※キーの発行には時間を要しますので、手順 5～6 も同時に実施することをお勧めします。
3. SiO Screen Studio 認証、画像データ作成  
レジストレーションキーが発行されたら SiO Screen Studio で認証(→p.9)し、画面の編集や IO の設定を行ってください。  
完了したら実行ファイルをエクスポートします。
4. SiO-X とタブレット端末接続  
SiO-X とタブレット端末を専用ケーブルで接続します。  
詳細は「SUC-1103 コンバータ取扱説明書」を参照ください。
5. SiO Screen Viewer をインストール  
HP から、SiO Screen Viewer をタブレット端末にインストールします。
6. SiO Screen Viewer のレジストレーションキー取得  
SiO Screen Viewer を起動し、専用フォームからレジストレーションキーを取得します。
7. SiO Screen Viewer 認証、画像表示  
レジストレーションキーを SiO Screen Viewer で認証します。  
3 で生成したデータファイルを読み込むと、画面データが操作できるようになります。

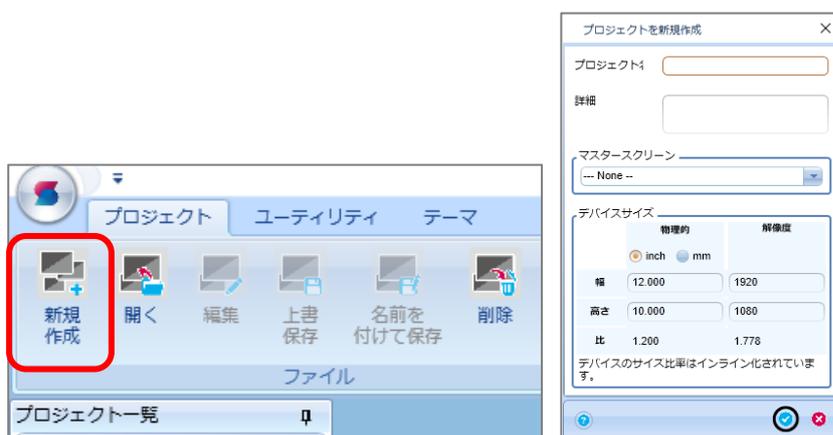
# SiO Screen Studio

SiO Screen Studio では、スクリーンの追加・メッセージやスクリーン切替えなどを設定します。  
 ※使用する際には、必ず管理者アカウントでログインしてください。



## 1. SiO Screen Studio 使用手順例

1. 新規プロジェクトを作成する  
 プロジェクト名やデバイスサイズ(SiO Screen Viewer を表示させるデバイス)などを設定します。



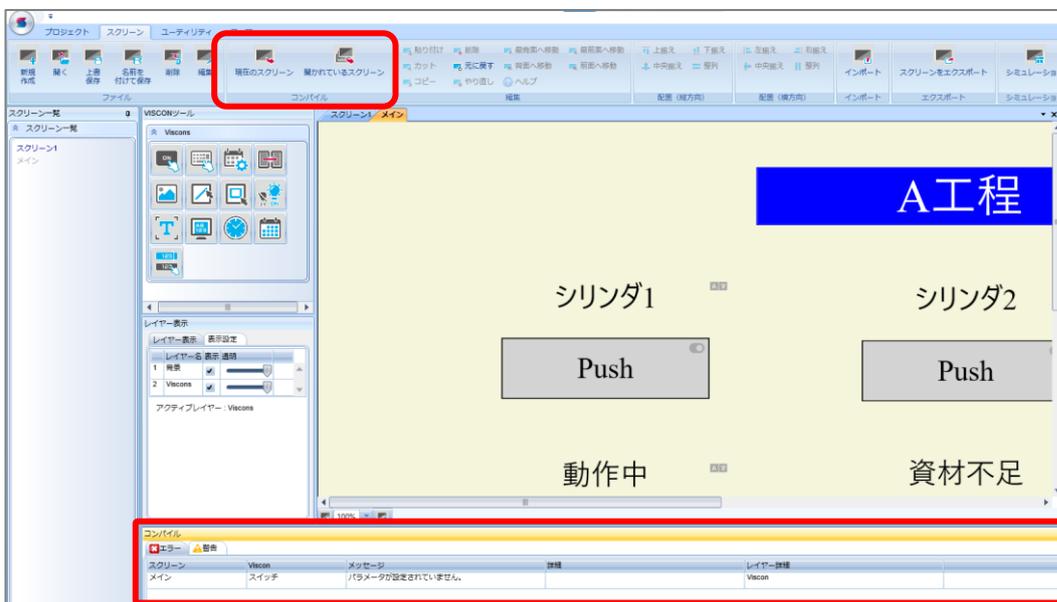
2. スクリーンを追加・作成  
 必要に応じてスクリーン・Viscon・メッセージなどを設定します。



### 3. コンパイル

編集したスクリーンデータなどを、実際に動作する形式へ保存することをコンパイルと呼びます。コンパイルを行うことで設定が更新され、シミュレーションへの反映やファイルへの保存ができるようになります。

エラーが表示されたら修正し、すべてのスクリーンでコンパイルを正常に完了させてください。

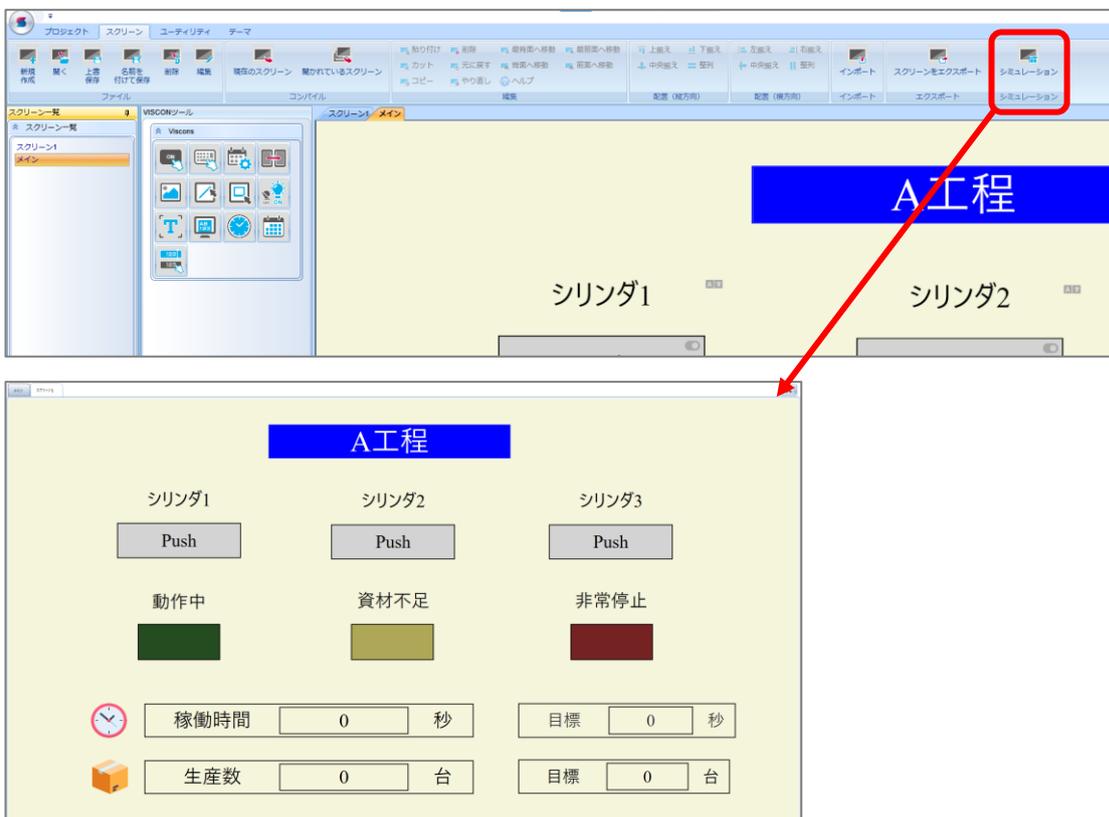


### 4. シミュレーションで動作確認

シミュレーション機能で、正しく動作するか確認します。

問題があればスクリーン編集画面に戻って修正します。

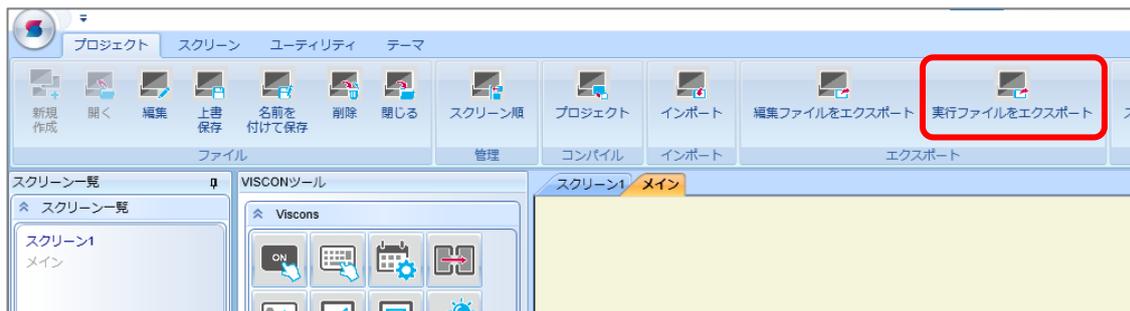
※設定を変更したら、都度コンパイルを実行してください。



## 5. 実行ファイルにエクスポート

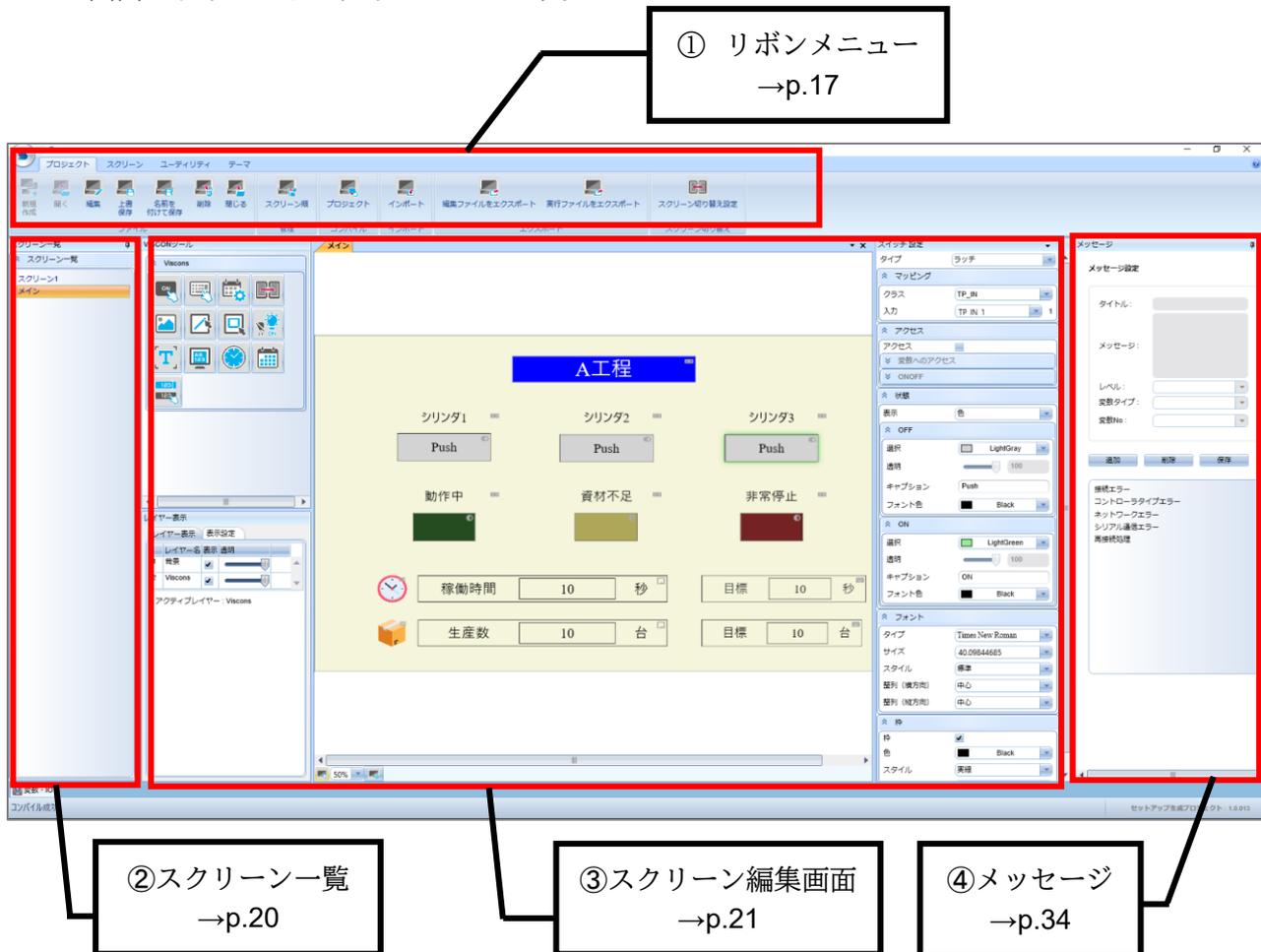
問題がなければ実行ファイル(.shx ファイル)にエクスポートします。

※必ずすべてのスクリーンでコンパイルを完了させてからエクスポートしてください。



## 2.メイン画面

メイン画面は以下のように表示されています。



設定可能な項目は以下の通りです。

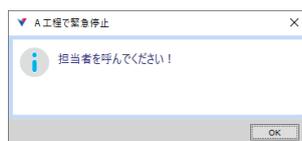
### ・スクリーン

画面の設定を行います。スイッチやランプなどの機能(Viscon)を好きなように配置できます。



### ・メッセージボックス

IOに応じてメッセージボックスを表示できます。



### ・スクリーン切り替え

IOに応じてスクリーンを切り替えることができます。

スクリーンの切り替えはVisconの「スクリーンジャンプ」でも行えます。

## ① リボンメニュー

## ■プロジェクトタブ



- ・新規作成  
新規にプロジェクトを作成します。  
プロジェクト名、詳細、マスタースクリーン、デバイスサイズを設定できます。
- ・開く  
新規にプロジェクトを作成します。
- ・編集  
プロジェクト名、詳細、マスタースクリーン、デバイスサイズを変更できます。
- ・上書き保存  
プロジェクトに上書き保存します。
- ・名前をつけて保存  
現在開かれているプロジェクトを複製します。
- ・削除  
プロジェクトを削除します。現在開かれているプロジェクトの場合、一度「閉じる」を実行する必要があります。
- ・閉じる  
現在開かれているプロジェクトを閉じます。
- ・スクリーンを並べ替え  
スクリーンの順番を並び替えます。  
※スクリーンの順番は、「スクリーン一覧」には反映されません。詳細は p.20 を参照ください。
- ・プロジェクト(コンパイル)  
現在開かれているプロジェクトをコンパイル(→p.38)します。
- ・インポート  
.shx ファイルに保存されているデータからインポートします。
- ・編集ファイルをエクスポート  
プロジェクトを保存します。SiO Screen Studio 専用の編集ファイル(.sdx)として保存します。
- ・実行ファイルをエクスポート  
プロジェクトを保存します。SiO Screen Viewer 専用の実行ファイル(.shx)として保存します。
- ・スクリーン切り替え設定  
IO 状態に応じてスクリーンを切り替える機能を設定します。詳細は p.35 を参照ください。

## ■スクリーンタブ



- ・新規作成  
新規スクリーンを追加します。  
スクリーン名、説明、共通背景を設定できます。
- ・開く  
プロジェクト内のスクリーンを開きます。
- ・上書き保存  
現在のスクリーン設定を上書き保存します。
- ・名前を付けて保存  
現在のスクリーンを複製します。
- ・削除  
プロジェクト内のスクリーンを削除します。  
現在開かれているスクリーンを削除する場合は、一度閉じてから削除してください。
- ・編集  
スクリーン名、説明、共通背景を変更できます。
- ・コンパイル(現在のスクリーン)  
スクリーン画面で表示されている 1 スクリーンのみコンパイル(→p.38)します。
- ・コンパイル(開かれているスクリーン)  
スクリーン画面でタブ表示されているすべてのスクリーンをコンパイル(→p.38)します。
- ・編集  
選択状態の Viscon を編集します。
- ・配置(縦方向) / 配置(横方向)  
選択状態の Viscon を整列します。
- ・インポート  
ハードディスク上の.sdx ファイルを選び、スクリーンデータをインポートします。
- ・スクリーンをエクスポート  
表示されている 1 スクリーンを別プロジェクトや.sdx ファイルにエクスポートします。
- ・シミュレーション  
現在のプロジェクトでシミュレーション画面を開きます。

## ■ユーティリティタブ



- ・ 選択  
言語を変更します。
- ・ Switch to English  
言語を英語に変更します。
- ・ フォント設定  
フォントとサイズを変更します。

## ■テーマ

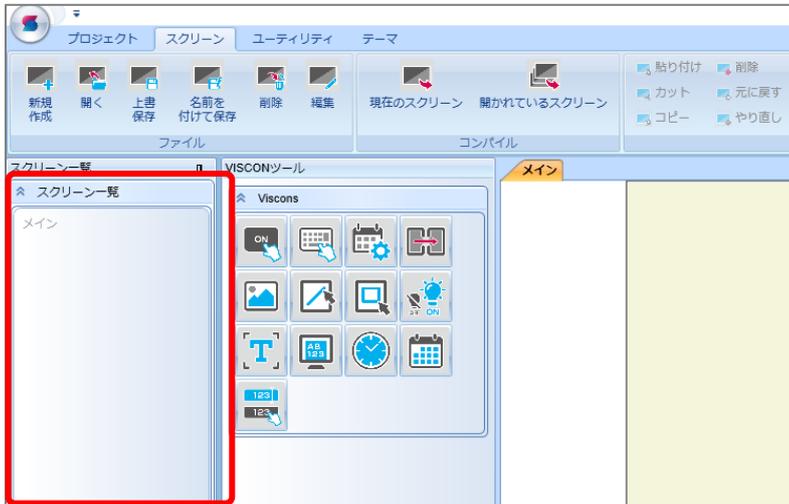


- ・ 新規作成  
新規にテーマを作成します。  
Viscon のデフォルト値を設定できます。
- ・ 編集  
テーマ名を編集します。
- ・ 削除  
テーマを削除します。
- ・ 選択  
設定されたテーマの中から 1 つを選択できます。

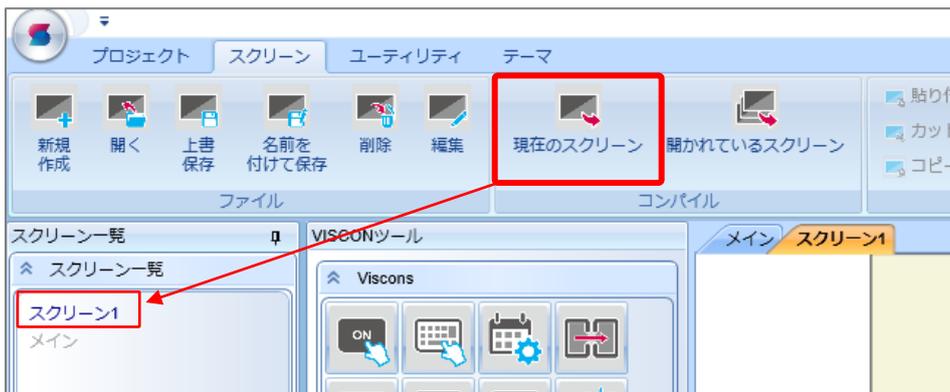
※ 詳細は「3.テーマ(p.36)」を参照ください。

## ② スクリーン一覧

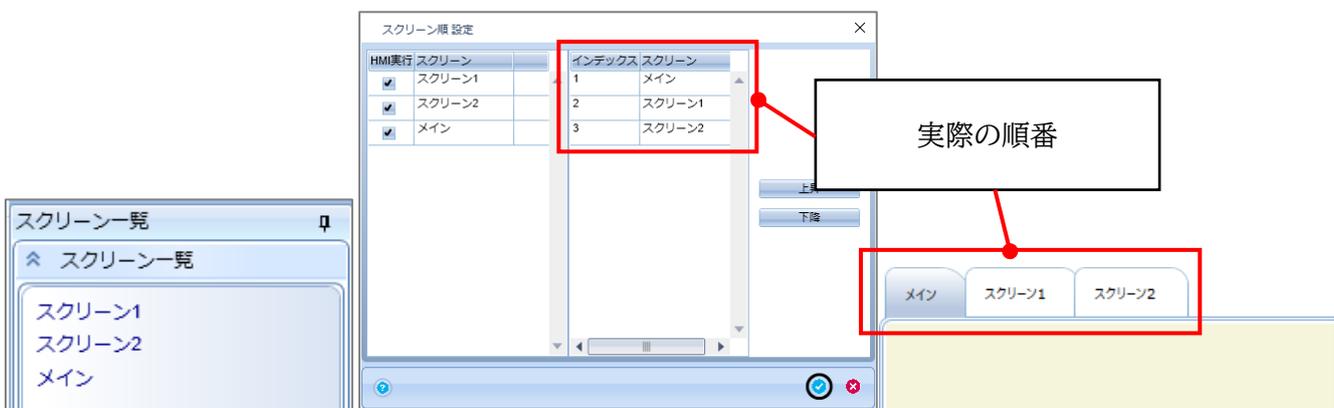
プロジェクトを作成すると、スクリーン編集画面が開きます。  
スクリーン一覧には、プロジェクト内のスクリーン名が表示されています。



編集データを画面として扱うには、コンパイルが必要です。  
コンパイルすると、薄いグレーで表示されているスクリーン名が青に変わります。  
コンパイルは、コンパイルボタンをクリックすることで実行できます。



スクリーン一覧では、スクリーン名の昇順で自動的に並び替えられています。  
実際のスクリーン表示順とは異なりますので、確認する場合は「プロジェクトタブ」の  
「スクリーンを並び替え」、または「スクリーン」タブの「シミュレーション」で参照ください。



### ③ スクリーン編集画面

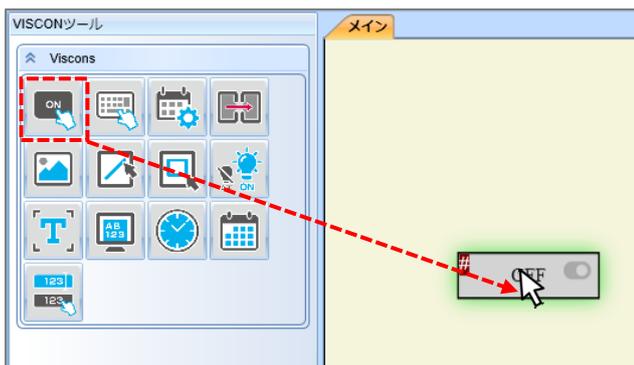
スクリーン編集画面では、スクリーン上に部品を自由に配置することができます



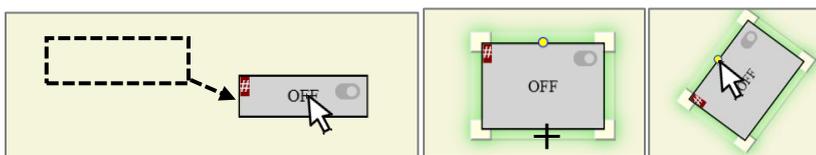
#### 1. Viscon

スクリーンに配置できる部品のことを Viscon といいます。

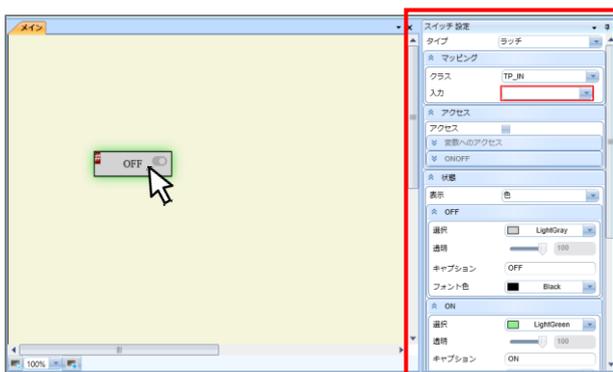
Viscon ツールからアイコンをドラッグすることで、スクリーンに Viscon を配置できます。



配置した Viscon はドラッグで移動でき、拡大縮小や回転が可能です。



配置した Viscon を選択状態にすると、Viscon に応じた設定ウィンドウが表示されます。



## ◆Viscon 一覧

## 1-1.スイッチ

クリックすると、コントローラへ TP-IN を出力します。



## 【タイプ】

オルタネート：ダブルクリックで ON と OFF を切り替えます。

モーメンタリ：クリックしている間だけ ON になり、離すと OFF になります。

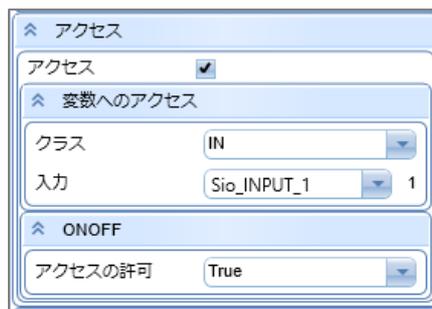
## 【マッピング】

コントローラに出力される TP-IN を設定します。

## 【アクセス】

有効にすると、条件が一致した状態のときだけ Viscon が使用できるようになります。

例：IN1 が ON になっている状態のみ、スイッチを使えるようになります。



## 【状態】

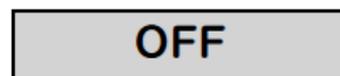
ON のときと OFF のときで、スイッチの見た目を切り替えることができます。

色または画像、透明度、キャプション、フォント色を設定できます。



## 【フォント】

キャプションのフォントやサイズを設定できます。



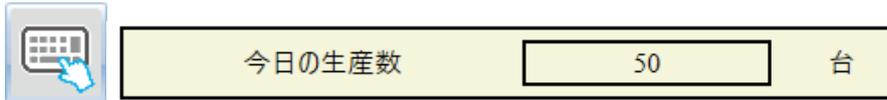
## 【枠】

スイッチの枠を設定します。枠の有無、色、スタイル、サイズを設定できます。



## 1-2.TP 変数入力ボックス

コントローラに TP バーコード/TP 整数/TP 小数を書き込みます。



## 【マッピング】

コントローラに書込む TP 変数を選択します。TP バーコード/TP 整数/TP 小数から選択できます。

## 【オプション】

キャプション(左側の文字)と単位(右側の文字)を設定します。

## 【アクセス】

詳細は p.22 を参照ください。

## 【背景】

背景色または背景画像を設定できます。



## 【フォント】

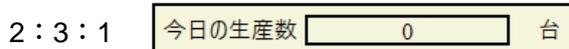
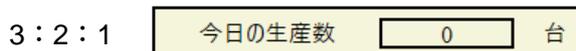
全体のフォントやサイズを設定できます。個別に指定したい場合は【スタイル】で設定します。



## 【セル比】

キャプション、入力ボックス、単位の表示比率を設定できます。

※キーボードを半角入力モードに変更してから設定してください



## 【スタイル】

キャプションと単位のフォントを設定できます。



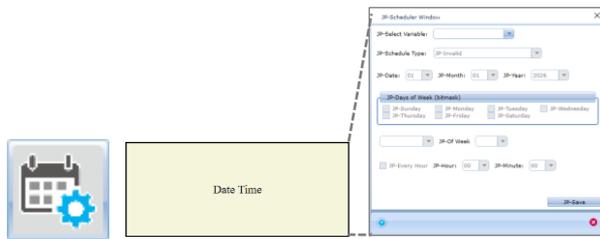
## 【枠】

枠を設定します。枠の有無、色、スタイル、サイズを設定できます。外枠と内枠を別々に指定できます。



### 1-3.TP 時刻入力ボックス

コントローラに TP 時刻を書き込みます。



#### 【オプション】

キャプションを設定できます。

#### 【アクセス】

詳細は p.22 を参照ください。

#### 【フォント】

キャプションのフォントやサイズを設定できます。



#### 【枠】

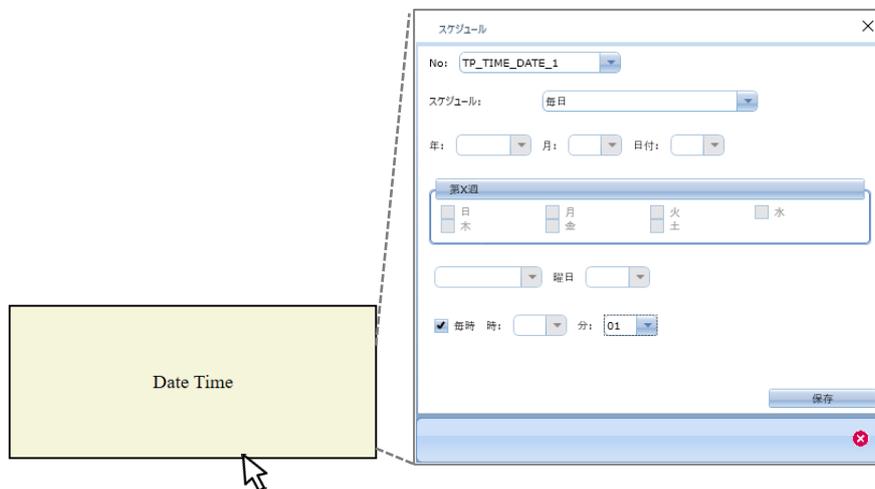
枠を設定します。枠の有無、色、スタイル、サイズを設定できます。



#### 【使用方法】

ボックスをクリックすると、設定画面が表示されます。

TP 時刻 1~TP 時刻 32 を選び、設定後に「保存」をクリックすると TP 時刻が書き込まれます。



#### 1-4.スクリーン切り替えスイッチ

クリックすると、スクリーンを移動します。



##### 【マッピング】

キャプション：表示する文字を設定します。

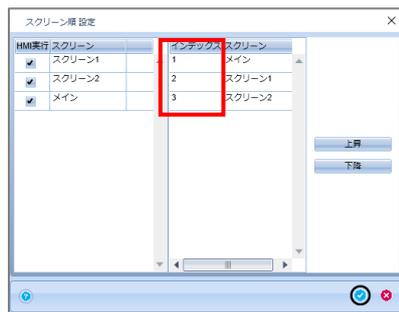
タイプ：ジャンプ先のスクリーンを指定する方法を選択します。

スクリーン名：スクリーン名を直接指定します。

スクリーンインデックス：数値を指定し、その番号のスクリーンにジャンプします。

数値はコントローラからのカウンタ(CNT1~64)またはTP 整数 1~64 から選択できます。

※インデックスは、「スクリーンを並べ替え」で指定した番号です。

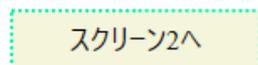


##### 【アクセス】

詳細は p.22 を参照ください。

##### 【枠】

枠を設定します。枠の有無、色、スタイル、サイズを設定できます。



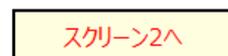
##### 【背景】

背景色または背景画像を設定できます。



##### 【フォント】

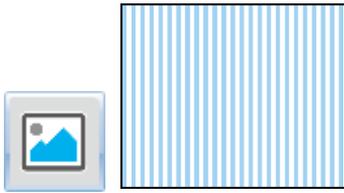
キャプションのフォントやサイズを設定できます。



※スクリーン切り替え機能(p.35)は Viscon とは異なり、コントローラの IO 状態によって自動でスクリーンを切り替える機能です。詳細は「4.スクリーン切り替え設定(p.35)」該当ページを参照ください。

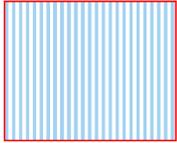
### 1-5.画像

指定した画像を表示します。



#### 【枠】

枠を設定します。枠の有無、色、スタイル、サイズを設定できます。

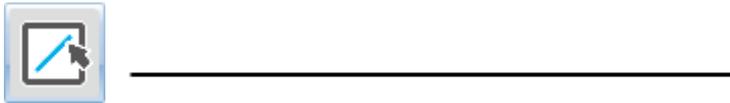


#### 【背景】

背景画像を設定できます。

### 1-6.線

実線を表示します。



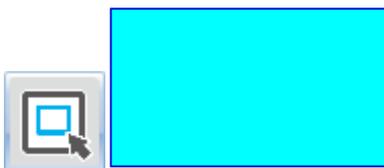
#### 【枠】

色、スタイル、サイズを設定できます。



### 1-7.四角形

四角形を表示します。



#### 【枠】

枠を設定します。枠の有無、色、スタイル、サイズを設定できます。



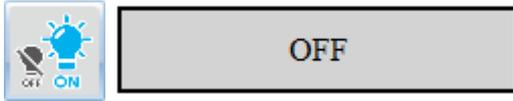
#### 【背景】

背景色を設定できます。



## 1-8. ランプ

コントローラの IO の ON/OFF 状態を表示します。



## 【マッピング】

ON/OFF を表示させる IO を設定します。IN/OUT/Ether/FLAG から選択できます。

## 【枠】

枠を設定します。枠の有無、色、スタイル、サイズを設定できます。



## 【状態】

ON のときと OFF のときで、見た目を切り替えることができます。  
色または画像、透明度、キャプション、フォント色を設定できます。



## 【フォント】

キャプションのフォントやサイズを設定できます。



## 1-9.テキスト

テキストを表示します。



緊急停止  
ランプ

## 【枠】

枠を設定します。枠の有無、色、スタイル、サイズを設定できます。

緊急停止

## 【背景】

背景色を設定できます。

緊急停止

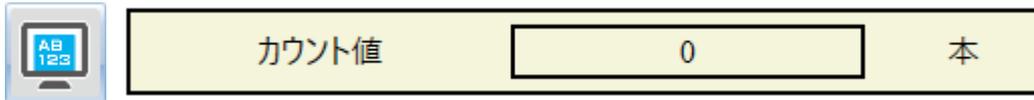
## 【フォント】

キャプションのフォントやサイズを設定できます。

緊急停止

## 1-10.ファンクション値表示ボックス

コントローラのファンクション値を表示します。



## 【マッピング】

読み込みたいファンクション値(CNT/TMR/SER/CLK バーコード切り出し値/照合テキストログ/照合テキストマスター/マーコード一致 No.)を指定します。

## 【オプション】

キャプション(左側の文字)と単位(右側の文字)を設定します。

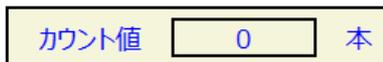
## 【背景】

背景色または背景画像を設定できます。



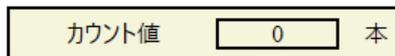
## 【フォント】

キャプションのフォントやサイズを設定できます。



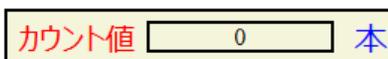
## 【セル比】

キャプション、入力ボックス、単位の表示比率を設定できます。



## 【スタイル】

キャプションと単位のフォントを設定できます。



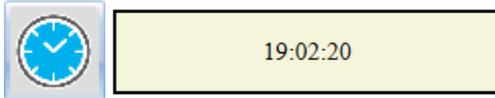
## 【枠】

枠を設定します。枠の有無、色、スタイル、サイズを設定できます。外枠と内枠を別々に指定できます。



## 1-11.時刻表示

PCの時刻を表示します。



## 【オプション】

時刻表示のフォーマットを設定します。

例：19時2分20秒の場合

HH:MM:SS：19:02:20

HH:MM：19:02

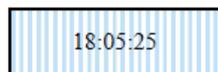
## 【枠】

枠を設定します。枠の有無、色、スタイル、サイズを設定できます。



## 【背景】

背景色または背景画像を設定できます。



## 【フォント】

キャプションのフォントやサイズを設定できます。



## 1-12.日付表示

PCの日付を表示します。



2026-01-08

## 【オプション】

時刻表示のフォーマットを設定します。

例：2026年1月9日の場合

dd-Mmm-yyyy：09:Jan:2026

dd-mm-yyyy：09:01:2026

dd-Mmm-yy：09:Jan:26

yyyy-mm-dd：2026:01:09

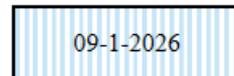
## 【枠】

枠を設定します。枠の有無、色、スタイル、サイズを設定できます。



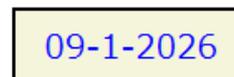
## 【背景】

背景色を設定できます。



## 【フォント】

キャプションのフォントやサイズを設定できます。



## 1-13.割り当てスイッチ

ファンクション値や TP 変数から、別の TP 変数に値を代入します。



## 【マッピング】

割り当て先の変数と、割り当て元の変数を設定します。

## 【タイプ】

◆Variable の場合：値の代入ができます。

割り当て先 TP バーコード/TP 整数/TP 小数

割り当て元

TP バーコードの場合：TP バーコード、バーコード切り出し値

TP 整数の場合：TP 整数、CNT

TP 小数の場合：TP 小数、TMR、SER

◆boolean の場合：ON/OFF 状態を代入できます。

割り当て先 TP-IN

割り当て元 IN/OUT/FLAG/Ether/TP-IN

◆Direct Value の場合：直接値を代入できます。

割り当て先 TP バーコード/TP 整数/TP 小数

割り当て元 直接値

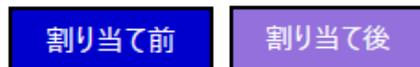
## 【アクセス】

詳細は p.22 を参照ください。

## 【背景】

背景色または背景画像、キャプション、フォント色を設定できます。

割り当て前と割り当て後で、別々の背景を指定できます。



## 【フォント】

キャプションのフォントやサイズを設定できます。



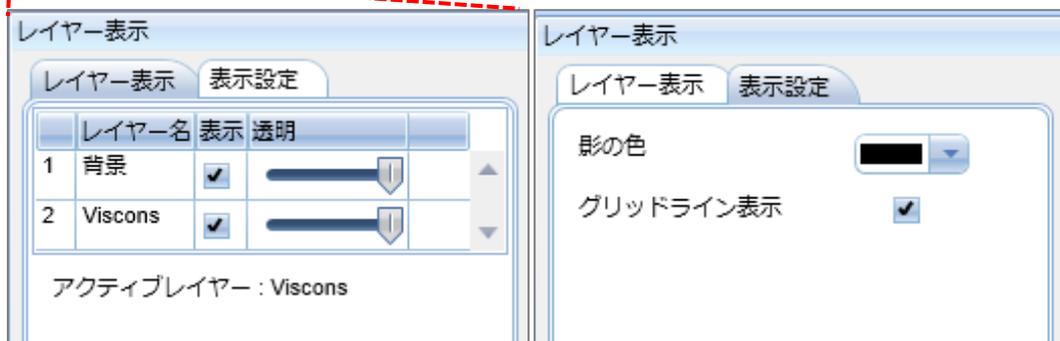
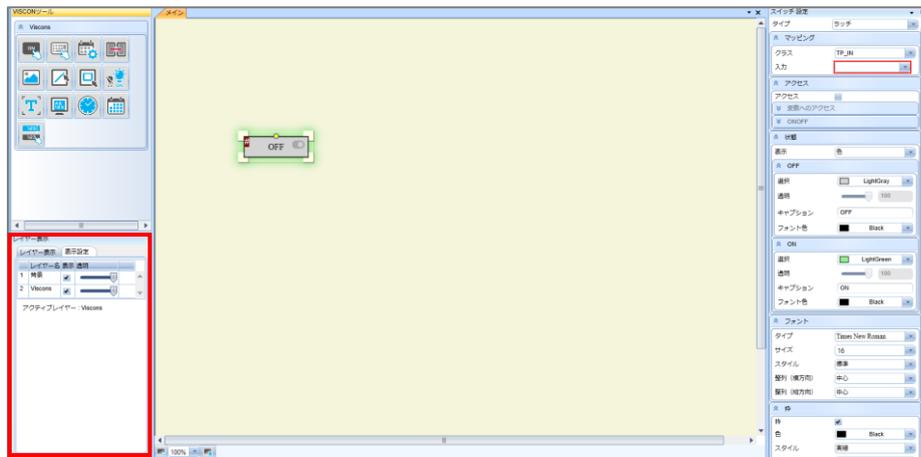
## 【枠】

枠を設定します。枠の有無、色、スタイル、サイズを設定できます。



## 2. レイヤー表示

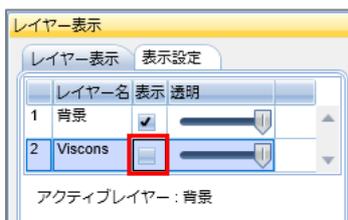
背景の変更や、Viscon の表示・非表示などを設定できます。



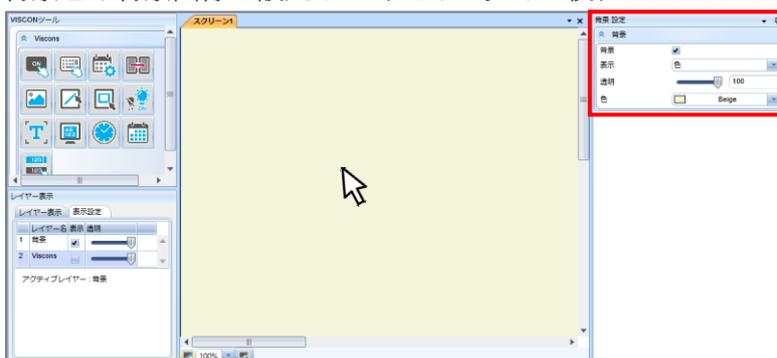
背景・Viscon の表示、透明度の表示や、グリッドラインの表示ができます。

### 【背景の変更方法】

1. Viscon レイヤーを非表示にします。Viscon が見えなくなります。



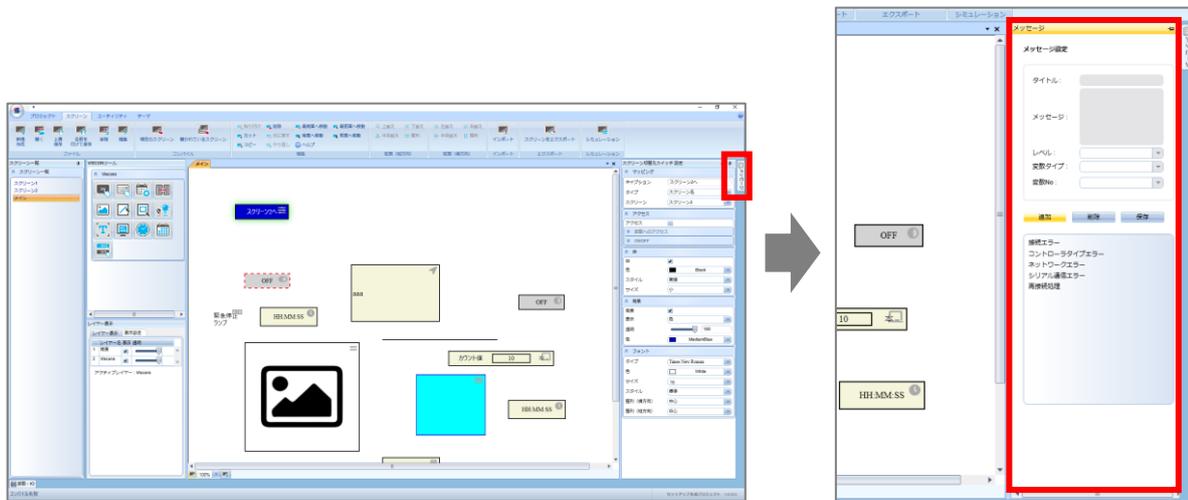
2. スクリーンをクリックすると、背景の設定画面が表示されます。背景色や背景画像を設定してください。その後、Viscon レイヤーのチェックを戻します。



## ④ メッセージ

条件が一致すると、メッセージボックスが表示されます。

メッセージボックスは、画面右側の「メッセージ」タブをクリックすると開くことができます。



デフォルトメッセージは以下のとおりです。これらのメッセージは削除・変更できません。

【接続エラー】コントローラとの通信が切断された場合に表示されます。

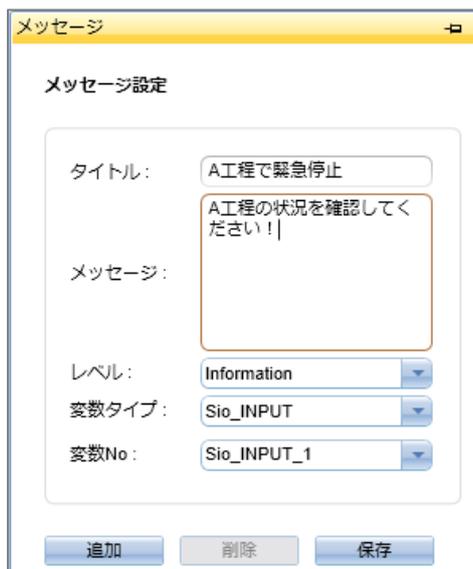
【コントローラタイプエラー】接続されているコントローラが対応外の場合に表示されます

【ネットワークエラー】ケーブル内での通信エラーの場合に表示されます。

【シリアル通信エラー】シリアル通信エラーの場合に表示されます。

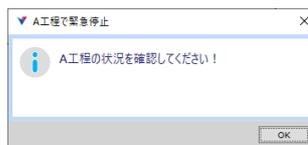
【再接続処理エラー】再接続に失敗した場合に表示されます。

## ◆メッセージウィンドウ

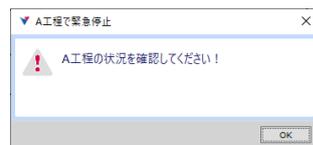


レベル：アイコンを設定します。

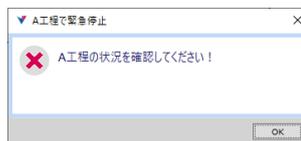
Information



Warning



Error



変数タイプ：

メッセージを表示させる条件を、IN/OUT/FLAG/Ether から選択できます。

【メッセージ追加手順】

1. 「追加」ボタンをクリックします。
2. タイトルなどを記入します。
3. 「保存」ボタンをクリックして保存します。

## 4.スクリーン切り替え設定

「プロジェクト」タブの「スクリーン切り替え設定」から設定できます。  
コントローラの IO 状態によって、自動でスクリーンを切り替えることができます。



クラス：

スクリーン No.を決定するために参照する IO を設定します。IN/OUT/FLAG/Ether から選択できます。

開始インデックス/終了インデックス：

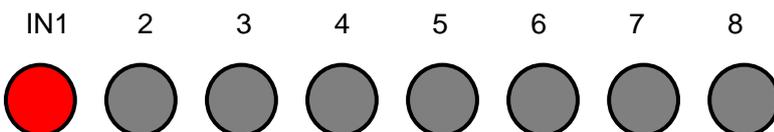
スクリーン No.を決める際のビット範囲を設定します。  
開始インデックスが下位ビット、終了インデックスが上位ビットになります。

### 【設定方法】

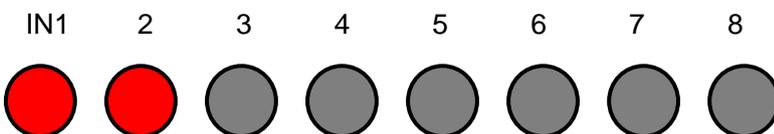
この機能では、IO の ON/OFF 状態から数字を決め、そのスクリーン No.に切り替えます。  
Viscon(→p.25)と異なり、タッチ動作がなくても範囲内の IO に変化があると即時に切り替わります。

例えば上記画像のように、開始インデックスが IN1、終了インデックスが IN8 に設定された場合、数値を決定する範囲は IN1～IN8 となり、以下のように動きます。

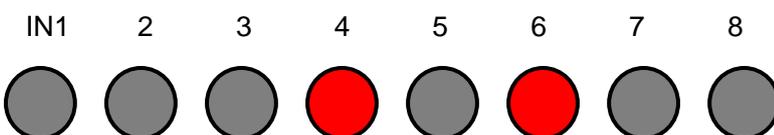
コントローラの IN1 のみ ON→二進数「00000001」→スクリーン No.1 に切り替わる



コントローラの IN1、IN2 が ON→二進数「00000011」→スクリーン No.3 に切り替わる



コントローラの IN4、IN6 が ON→二進数「00101000」→スクリーン No.40 に切り替わる



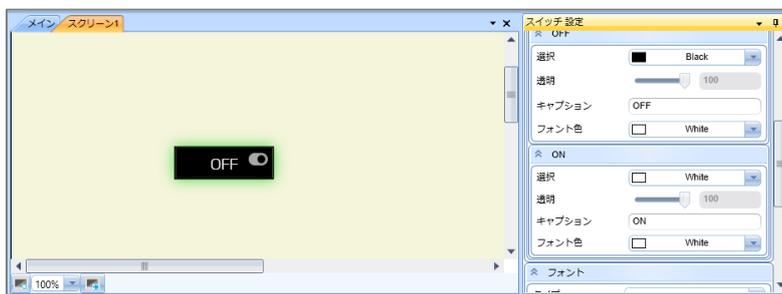
## 4. テーマ

テーマを使用することで、Viscon のデフォルトデザインを変更することができます。同じ設定の Viscon を複数生成する場合に便利です。

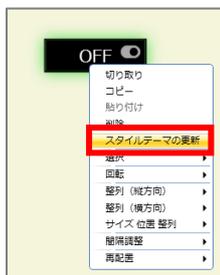
1. 「テーマ」タブの「新規作成」をクリックし、テーマ名を入力して適用します。



2. Viscon の設定を行います。



3. Viscon を右クリックして「スタイルテーマの更新」をクリックすると、現在選択中のテーマに反映されます。



4. Viscon を新規に追加すると、先ほど設定したデザインが反映されています。

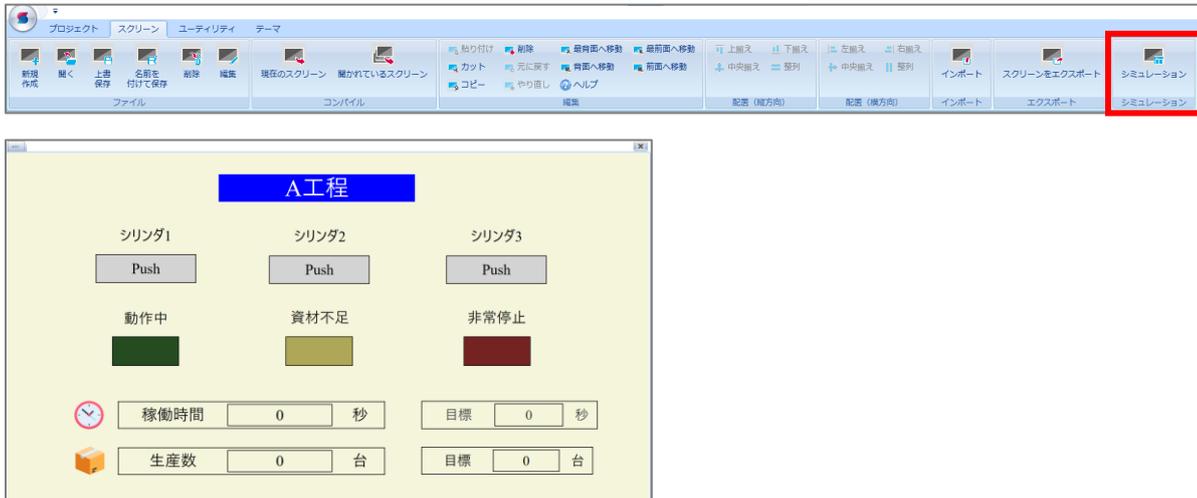


※テーマは Viscon 別ではなく、一括で保存されます。

※テーマはプロジェクトのエクスポートでは保存されません。テーマタブから保存してください。

## 5. シミュレーション

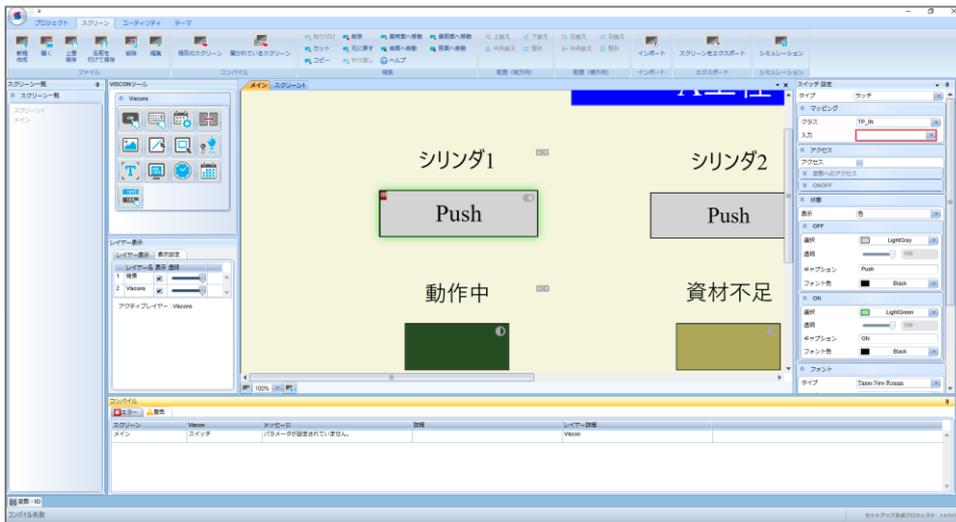
シミュレーションは、「スクリーン」タブの「シミュレーション」から実行できます。  
コンパイル済みの画面を、実際の画面で操作しながら確認できます。  
コントローラを接続する必要はありません。



※実行前に、コンパイルが正しく完了しているかを確認してください。

## 6. コンパイル

作成したスクリーンデータを利用するには、コンパイルを実行する必要があります。コンパイルが完了することで、スクリーンとして使用できるようになります。



コンパイルを実行する方法は以下の通りです。

- ・「プロジェクト」タブのコンパイル

プロジェクト内のスクリーンすべてをコンパイルします。スクリーン数が多いと時間がかかります。



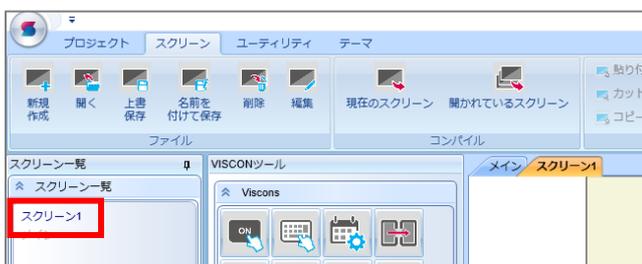
- ・「スクリーン」タブのコンパイル

編集画面に表示されているスクリーンのみコンパイルします。

「開かれているスクリーン」の場合、編集画面に開かれている最大5スクリーンをコンパイルします。



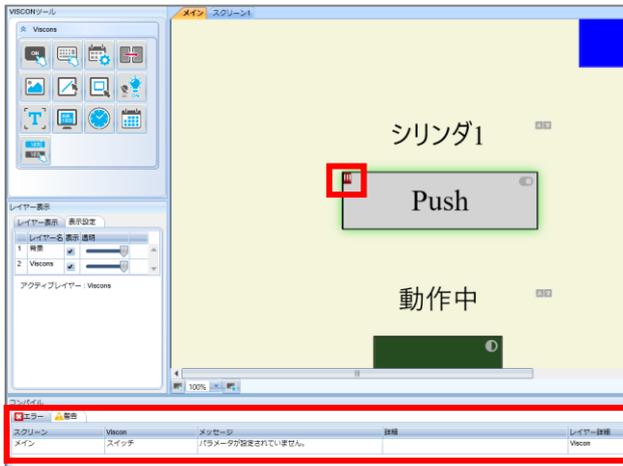
コンパイルが完了したスクリーンは、スクリーン一覧で青文字になります。



スクリーン一覧で青文字になったスクリーンは、シミュレーションやエクスポートができます。SiO Screen Viewerで使用する場合は、実行ファイルをエクスポート(p.17)し、.shx ファイルを生成してください。

## 【コンパイル時のエラー】

Viscon の設定に問題がある場合、Viscon にエラーマークが表示され、コンパイルウィンドウにエラーメッセージが表示されます。  
エラーメッセージに従って修正してください。



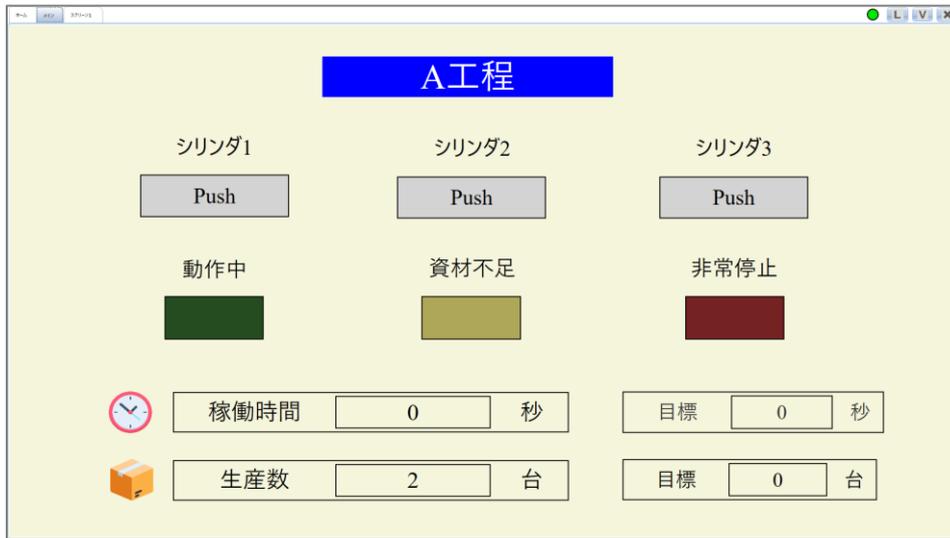
「変数・IO」ウィンドウでは、IO の名称を確認できます。  
※表示を変更することはできません。

The screenshot shows the '変数・IO' (Variables/IO) window. The window title is highlighted with a red box. The table below lists the IO parameters:

No.	ユーザ定義名
1	TP_BARCODE_1
2	TP_BARCODE_2
3	TP_BARCODE_3
4	TP_BARCODE_4
5	TP_BARCODE_5
6	TP_BARCODE_6

# SiO Screen Viewer

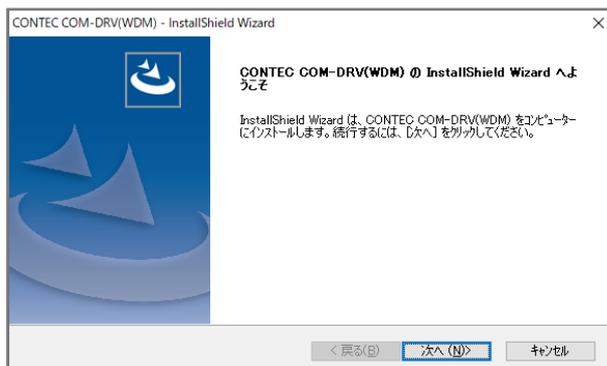
SiO Screen Viewer は、SiO Screen Studio でエクスポートした.shx ファイルを実行できます。



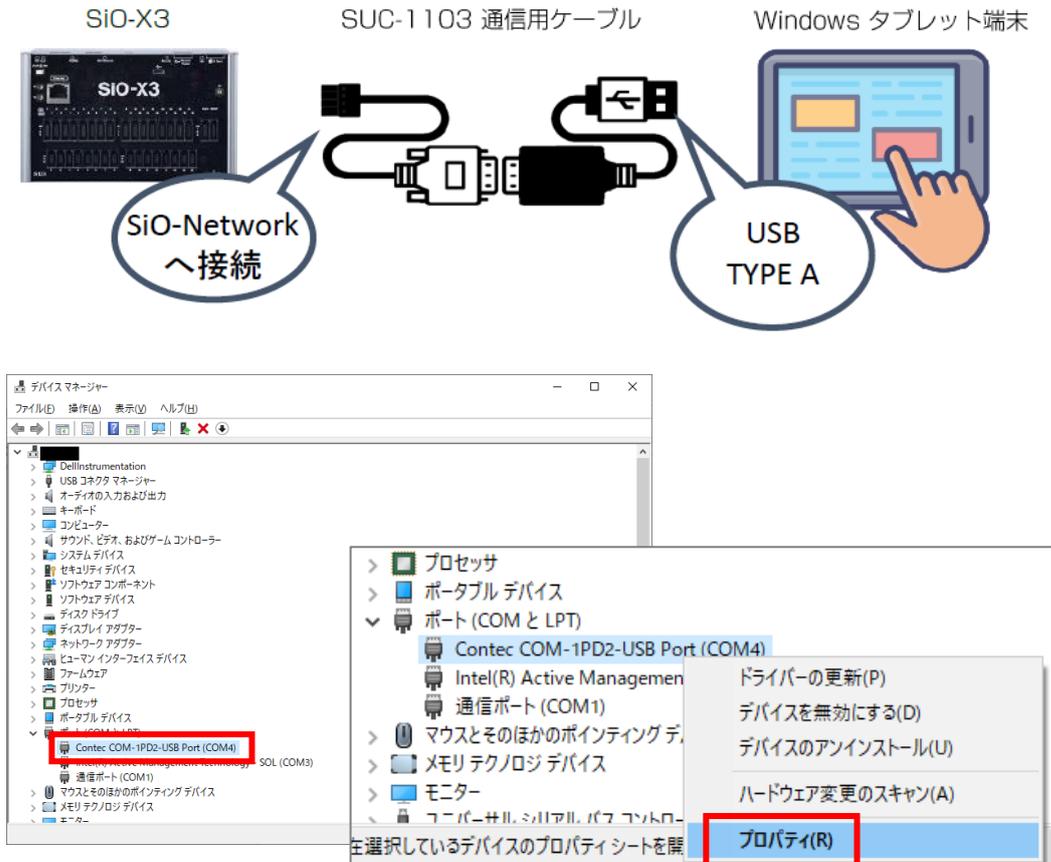
## 1. 使用手順

1. タブレット端末とコントローラを専用ケーブル(SUC-1103)で接続します。  
初回接続時には設定が必要です。  
※設定の際には、管理者権限が必要になります。

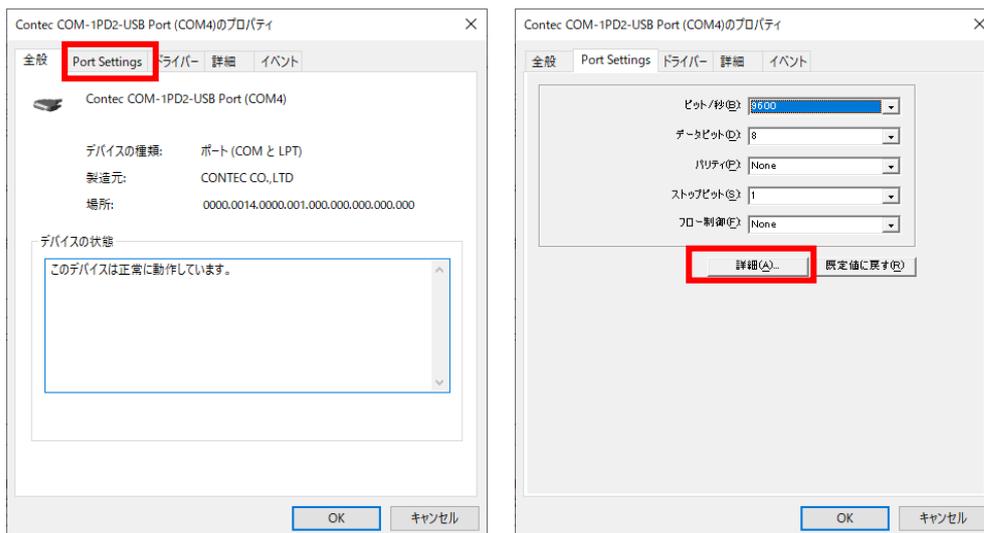
CONTECのWebサイトにアクセスし、デバイスドライバをインストールします。  
ダウンロードには会員登録が必要です。詳細はメーカーのホームページを参照してください。



2. 通信用ケーブルでタブレット端末と SiO-X3 を接続します。  
スタートメニューで右クリックし、デバイスマネージャを開きます。  
「ポート(COMとLPT)」からコンバータを選択し、右クリックから「プロパティ」を選択します。



3. プロパティ画面が開いたら、「Port Settings」を選び、「詳細」をクリックします。



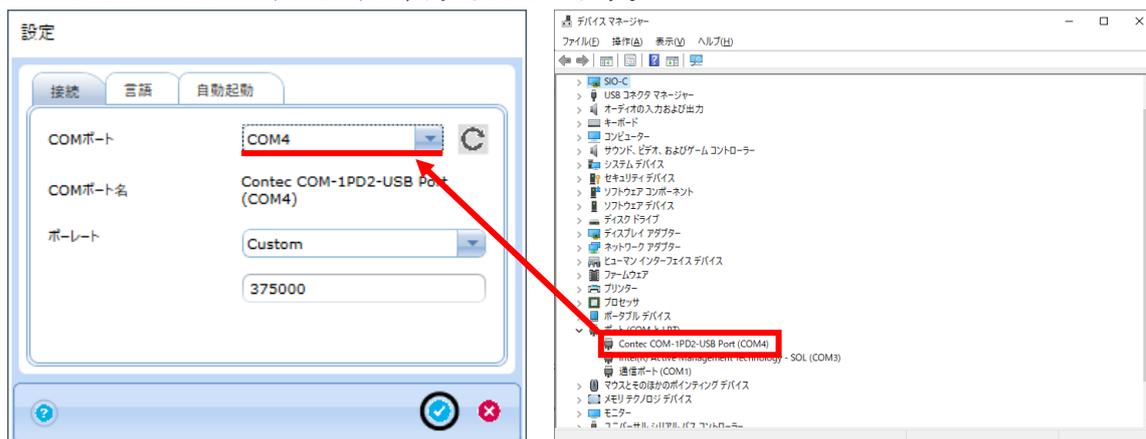
4. 詳細画面で「半二重設定」にチェックを入れ、「OK」をクリックします。



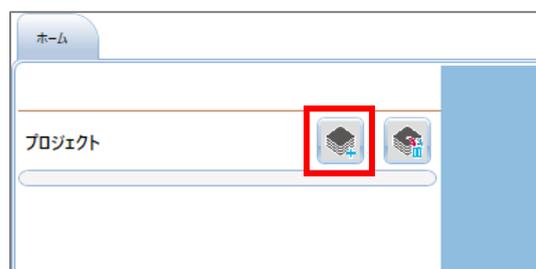
5. SiO Screen Viewer の「設定」ボタンをクリックします。



6. 接続タブで、「COM ポート」から接続ケーブルの COM を選択します。  
ポートはデバイスマネージャに表示されています。



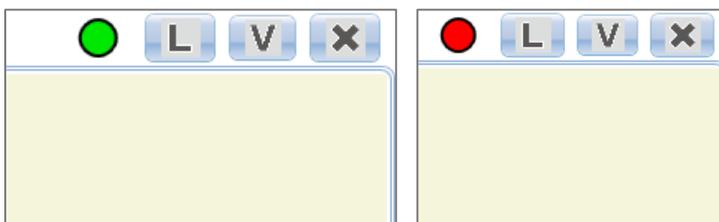
7. Scen Viewer でインポートボタンをクリックし、  
SiO Screen Studio で生成した.shx ファイルを読み込みます。



8. インポートしたプロジェクトをダブルクリックして実行します。



9. 右上の接続ランプが緑色に表示されていれば、コントローラとの通信は正常です。赤の場合は通信に失敗していますので、以下をご確認ください。



- ・コントローラの電源がONになっているか
- ・タブレット端末とコントローラが正しく接続されているか
- ・「設定」画面で、接続ケーブルと同じCOMポートが正しく選択されているか
- ・デバイスマネージャで「半二重設定」にチェックが入っているか

正しく設定されているにもかかわらず接続状態が改善しない場合は、一度プロジェクトを閉じてから開きなおしてください。

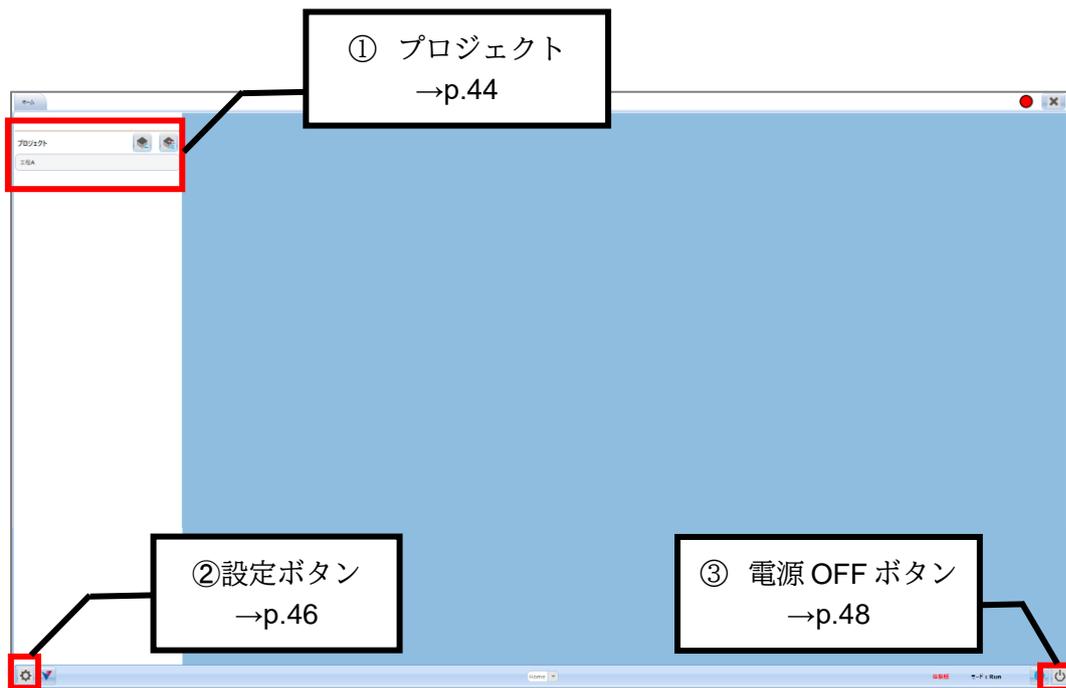
※文字入力を行う場合、あらかじめスクリーンキーボードを表示させてからSiO Screen Viewerを起動してください。



10. 終了の際は「ホーム」タブから戻るボタンをクリックします。

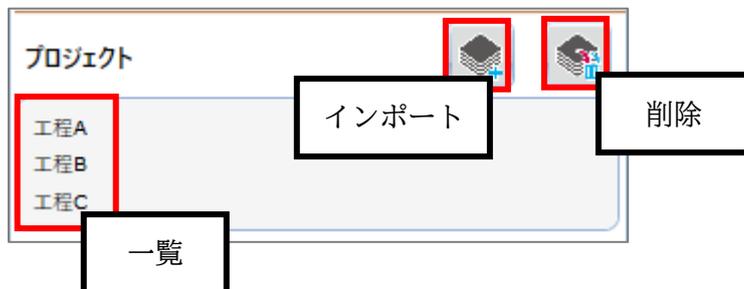


## 2.メイン画面



### ① プロジェクト

プロジェクトの実行、インポート、削除を行う項目です。  
プロジェクトをインポートし、一覧からダブルクリックすることで実行します。



#### ■インポート

インポートボタンを選択すると、プロジェクトをインポートできます。  
選択画面が表示されますので、SiO Screen Studio で作成した.shx ファイルから  
インポートしたいプロジェクトを選択してください。

※インポート後に SiO Screen Studio からハードディスク上の.shx ファイルを上書きしても  
SiO Screen Viewer のプロジェクトは上書きされません。再度インポートしてください。



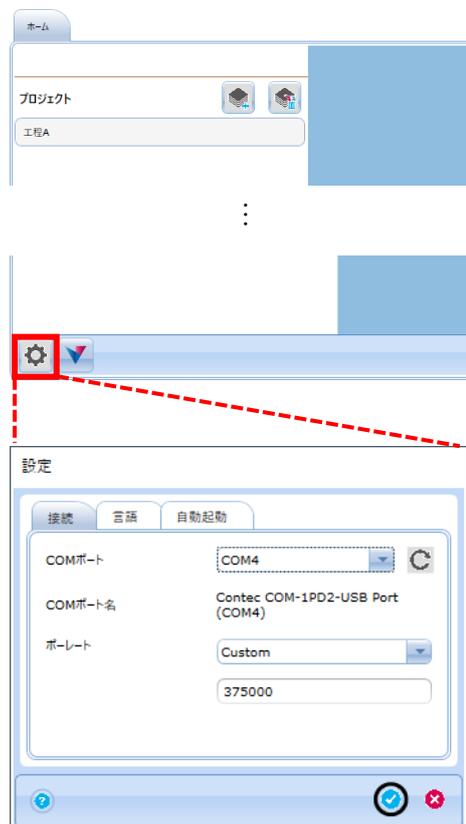
**■削除**

インポート済のプロジェクトを削除できます。



## ② 設定画面

メイン画面左下の歯車ボタンをクリックすると、設定画面を開くことができます。



### 【COM ポート】

ポート No.を設定します。

COM ポート名が「Contec-COM-1PD2-USB Port」と表示されているかご確認ください。

### 【COM ポート名】

選択したポートの名前です。

### 【ボーレート】

データ通信速度の値です。通常はデフォルト値で問題ありません。

### 【言語】

日本語、英語、中国語から選択できます。

### 【自動起動】

ソフト起動時に、特定のプロジェクトを自動起動させるよう設定できます。

※この機能は、SiO Screen Viewer の起動時にプロジェクトを自動で動作させる機能です。

Windows 端末の起動時に SiO Screen Viewer を自動で実行させたい場合は、

OS ごとの設定を確認し、SiO Screen Viewer を Windows のスタートアップに指定してください。

※自動起動が正しく動作しなかった場合、以下の設定をお試してください。

管理者権限が必要です。システムファイルの操作が含まれるため、以下の手順に含まれていない設定の変更は行わないでください。

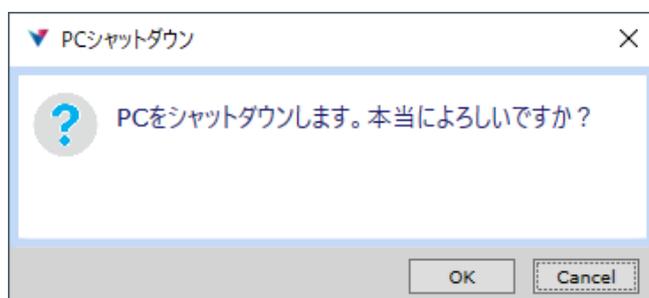
1. スタートメニューを開き、コントロールパネルを選択します。
2. コントロールパネルの検索欄に「UAC」と入力します。
3. 「ユーザーアカウント制御設定の変更」をクリックします。
4. スライダーを「通知しない」の位置まで移動し、「OK」をクリックします。
5. ユーザーアカウント制御の変更確認ダイアログが表示されますので、「はい」をクリックします。
6. コントロールパネルを開き、表示方法を「カテゴリ」から「小さいアイコン」に変更します。
7. 電源オプションを選択し「電源ボタンの動作を選択する」をクリックします。「電源とスリープボタンの設定」の「電源ボタンを押したときの動作」で「シャットダウン」が選択します。
8. 「現在利用可能ではない設定を変更します」をクリックし、「高速スタートアップを有効にする (推奨)」のチェックボックスをオフにします。変更の保存をクリックします。
9. Windows キー+R で「ファイル名を指定して実行」ウィンドウを開き「RegEdit」を入力して実行します
10. Hkey\_Local\_Machine¥ Software¥ Microsoft¥ Windows¥ CurrentVersion¥ Policies¥ System¥ EnableLUA を「0」に設定します。

## ③ 電源 OFF ボタン



クリックすると、PC の電源をシャットダウンします。

SiO Screen Viewer 使用后、そのままシャットダウンさせる場合にご使用ください。



※SiO Screen Viewer 以外にアプリケーションが動作していた場合も強制終了します。

## SiO Screen Studio / SiO Screen Viewer に関するお問い合わせ

不具合や不明点は以下のフォームよりお問い合わせください。

<https://fa.sus.co.jp/support/sio/form.php>

### 改版履歴

版	年月日	内容	変更ページ
1.00	'26/03/16	第1版制定	